

令和5年度第3回商工業振興審議会での主な意見(産業振興条例関係)

【デジタル関連】

- ・ 北海道には、再エネのリソースがあり、まだまだ掘り起こす余地がある。再エネをデータセンターの電源にすることで地産地消が図られる可能性があり、このような形で GX や DX を展開することで、北海道のブランドとして一つの強みになるのではないかと。
- ・ 助成制度の設計について、業種の補助率をアップするというような単純な見直しではなく、例えば、企業立地の促進、補助金の補助要件に、雪氷冷熱や畜産バイオマスなど、北海道ならではの再エネを導入活用する場合には、補助率の引き上げを検討いただきたい。
- ・ 道内の中小企業にとって、人手不足は重要な問題であるが、なかなか DX の取り組みが進んでいないので、そういった意味で IT の力は特に重要。
- ・ ラピダスに多額の投資をして、北海道を第二の熊本のような活気のある街にするということは賛成ですが、IT 関連の事業も北海道の発展に何らかの形で寄与できるような仕組みを入れていただきたい。

【雇用・人材関連】

- ・ 地方では、労働力などのリソースが、道央圏に過度に集中することに対する懸念の声が聞かれ、半導体関連産業集積の効果を全道に波及させ、道内全域が均衡ある発展を遂げることが重要。
- ・ 中小企業者との意見交換で、特に観光業界の人材不足が深刻となっており、このような中で、ラピダスやデータセンターに人材を取られることを懸念している。
- ・ データセンターについて、雇用増の要件に少し疑問を感じる。雇用増の要件について、要件ではなく目標値にすることはできないのか。特に札幌・千歳間は人も金も全て集中しており、地方は非常に低迷しているので、そこに対するバランスをとれるような振興策を検討していただきたい。
- ・ 人材不足の深刻化について、道央圏に人が集中することが懸念されており、補助要件に雇用増を掲げることの是非を検討していただきたい。

- ・ 人材不足について不安に感じている企業もあり、データセンターの立地の影響で、土地の高騰や住宅不足となり、そのようなことが起こると地域の手手が取られてしまい、本当に地域にとってよいことなのかという疑問を感じる。
- ・ 人手不足が深刻化する中、外から企業を誘致することによってさらに悪化することも想定される。本道に進出したデータセンターや半導体関連企業に対し、道として道内企業に仕事の紹介等のサポートをすることで、取引拡大につながるような取り組みを進めてほしい。

【委員選任】

- ・ 今回、産業振興条例の助成制度の見直しに向けて部会を設置することは賛成ですが、IT 関係の専門委員だけで部会を構成しないでいただきたい。
- ・ 地元の中小企業が、なかなか雇用の確保ができない状況であり、そういった状況のわかる方の委員を入れていただきたい。

【その他】

- ・ 産業振興条例の助成制度の見直しは、ほかの委員の意見どおりであり、ぜひ検討部会の皆さんの審議結果に期待したい。
- ・ 産業振興条例の助成制度において、半導体関連産業やデータセンターのデジタル関連産業の集積を、一層促進する方向で助成制度を見直しすることについては賛成する。
- ・ ラピダス社の千歳市進出は、道内では前例のない投資規模の案件であり、関連産業の立地の誘発、道内企業との取引拡大によって新たな基幹産業の創出、雇用機会の創出に大いに期待できるものと認識。
- ・ 参考資料内の補助実績では、具体的な助成措置として電気・電子、製造業、データセンターだけでなく、ものづくり全般に関して幅広くカバーされており、その波及効果は手広くあると感じた。